

第2次周南市水素利活用計画（案）に対する意見の要旨と市の考え方（全文記載）

※いただいた意見については、原文通り掲載しています。

項目	番号	意見要旨	市の考え方
◇計画策定の方針			
	1	<p>『なお、国の「水素基本戦略」において、アンモニアや合成メタン・合成燃料なども計画の対象に含めたことを踏まえ、本計画における“水素”も、アンモニアや合成メタン・合成燃料なども含めた意味で記載します。』</p> <p>との事ですが、水素とその他計画対象（アンモニア・合成メタン・合成燃料など）はその製造・輸送・貯蔵・活用の分野で大幅に異なるものもあり、これら全てを「水素利活用計画」内で扱うのは無理があると感じます。</p> <p>又、当計画（案）の各所「水素」の記述は、「水素単体」についてと思われる記述が多数であり、誤解を招く可能性多大と感じます。少なくとも、誤解を極力減らすために、計画名称を「水素等利活用計画」「水素他エネルギー利活用計画」とすべきと考えます。</p> <p>又、当「計画（案）」内で水素以外も対象とする/なる場合は「水素等」と表記すべきと考えます。</p> <p>&lt;例（あくまで例）&gt;</p> <p>P6 表1 基本指標</p> <p>「水素ステーションの設置数」</p> <p>「燃料電池自動車、水素自動車等の車両数」</p> <p>…当該「水素」は「水素のみ」と考えます。</p>	<p>令和5年5月に国が策定した「水素基本戦略」に準じた表記とし、適宜、分かりやすい記載をします。</p>

1. 計画の基本事項			
(1) 策定の趣旨	2	P1-P2で関係施策列記されておりますが、市施策と上位行政施策の時系列関係の把握が困難です。 これ以降に記載されている各施策と合わせて、実施時期を明示した年表的資料追加が必須と考えます。	当該箇所は時系列ごとではなく、国、県、市ごとに、それぞれの取組を時系列的に例示しています。
(3) 計画の期間	3	『今後の改定方針』で「計画 (Plan) - 実行 (Do) - 評価 (Check) - 改善 (Action) の各段階において、見直し・改善を図ります。』との記述ありますが、「見直し・改善」の実施主体や、見直し・改善実施時期不明であり計画 (案) として不適切です。記述追加をお願いいたします。(「推進体制・進捗管理」はP26に記載ありましたが、P4の記述が不適切なのに変わりありません。)	従前より水素利活用計画は、本市における水素利活用の取組に係る情勢の変化や新たな検討・実施等に際し、関係者や水素利活用協議会等の御意見を踏まえながら、適宜、見直し等を図ってきたところであり、引き続き、柔軟な対応を図ることとします。
2. 計画の体系			
(1) 基本目標・基本指標	4	『「水素エネルギーで未来を拓く水素先進都市「周南」」の姿を示す具体的な数値目標として、「周南市水素利活用構想」で掲げられている基本指標に新たな指標を追加し、以下のとおり設定しました。』 との事ですが、「周南市水素利活用構想」は2014年度から開始の計画のほうです。 10年ほど前に作成の市行政計画の基本指標について、その達成状況を明示せずに「基本指標に新たな指標を追加し、以下のとおり設定しました」という新規計画 (案) が適切なのでしょうか。 [「周南市水素利活用構想」(2014年度～)で掲げられている基本指標の現時点状況詳細(構想作成時実績値、構想での目標値、現状地)]を明示の上で、「2030年目標値」設定根拠を当該「活用計画(案)」に明示願います。	2023年の現況値として掲載していますが、その他、分かりやすい表記に訂正します。 実証事業は、今後の水素社会を見据えた基盤づくりにおいて、大変重要な取組であり、水素利活用協議会等でいただいた御意見も踏まえ、指標を設定しています。

		「新規水素利活用実証事業数」についての説明記述ありますが、内容確認しますに「大変重要」な施策を「積極的に進め」ていく項目であり、「目標値」を設定する案件ではない（可能な限り推進すべき案件）と感じます。記述見直し御検討頂けましたなら幸いです。	
(2) 基本施策	5	「水素サプライチェーンの充実」を施策に掲げる一方で、「水素ステーションの設置数」の基準指標が「2023 年現況値：1 か所(2023. 12. 31)→2030 年目標値2 か所」で良いのでしょうか。「活用計画（案）」にこの基準指標について詳細説明必要と考えます。	本計画は「水素利活用構想」に基づくものであり、当該基本指標は同構想に定められています。
3. 基本施策の展開			
(1) 水素サプライチェーンの充実	6	<p>『【取組方針】 ◇地域及び国内の水素需要に応じた調達・供給体制の確立を推進します。』とありますが、まず【現状と課題】の記述と合わせるために「水素・アンモニア等」とすべきと考えます。</p> <p>その上で、「需要に応じた」と言った受け身に取れる表現は避けた方が良いと思います。</p> <p>『地域内でのクリーン水素製造を目指し、再生可能エネルギーやバイオマス等を用いた水素製造、輸入アンモニアから水素を製造するクラッキング技術の導入などについて検討します。』とありますが、これら技術導入は企業が事業として行うものと思われます。これら「企業の事業」に対して行政がどう関わっていくのか明示すべきと考えます。</p> <p>(同様に「企業の事業」について「検討します」「進めます」「推進します」といった記述が随所にある気がします（一部後述）。文面御確認の上、市行政がどうかかわるのか明示願います。)</p>	<p>表記については、国の「水素基本戦略」の考え方に準じており、適宜、分かりやすい記載をすることとします。</p> <p>また、水素は、2030 年度前後より供給・利用が開始され、以降、量の拡大が図られるものと考えています。</p> <p>そのため、供給・利用開始当初においては、供給者・利用者一体の計画により、需要に応じた供給が必要と想定しています。</p> <p>企業の取組に対しては、行政（国・県・市）として必要な支援等を適宜、検討、実施することになると考えます。</p>

<p>”</p>	<p>7</p>	<p>【具体的な取組】に、行政主体で対応出来る/対応すべき案件と企業が行う案件が混在している様に思えます。          企業が行う案件に行政がどう関わるのか明示すべきと考えます。          &lt;例（あくまで例）&gt;          「周南コンビナートのエネルギーの脱炭素化を図るため、現行の火力発電におけるカーボンフリーアンモニアの混焼（図12 参照）を進めます。」          …「進める」のは火力発電実施母体＝企業のはずです。行政が単に「進めます」と言っても進まないはず。企業が当該内容を進めるために行政が何をするのか（税制優遇なりカーボンフリーアンモニア調達の行政としての支援なり）明示が必要なはずです。</p>	<p>表記については、国の「水素基本戦略」の考え方に準じており、適宜、分かりやすい記載をすることとします。          また、水素は、2030年度前後より供給・利用が開始され、以降、量の拡大が図られるものと考えています。          そのため、供給・利用開始当初においては、供給者・利用者一体の計画により、需要に応じた供給が必要と想定しています。          企業の取組に対しては、行政（国・県・市）として必要な支援等を適宜、検討、実施することになると考えます。</p>
<p>（3）水素関連産業等創出に向けた環境整備</p>	<p>8</p>	<p>「【取組方針】          ◇地域産業の振興に向け、水素関連産業への地元企業の参入を促進します。」とのことですが、「水素関連人材育成及び活用事業の充実」のための取り組みが「地元企業の参入の促進」だけでは対応不足と感じます。          「水素関連企業の市内誘致」「水素関連企業との連携」等々明示御検討願います。</p>	<p>御意見を踏まえ「地元企業」の表記を削除します。</p>
<p>（4）市民・企業等への普及・啓発事業の協会</p>	<p>9</p>	<p>水素事業は一般の人間からするとあまりなじみがないように感じます。燃料電池自動車の市民への貸し出しはなじみが出るため非常に良い取り組みだと思いました。使った人の肯定的な感想などもPRの一環としてシティケーブル周南などで放送してみてもはどうでしょうか。</p>	<p>貴重な御意見をありがとうございます。          今後もあらゆる機会を捉え、PRに努めます。</p>

その他（計画全般）			
〃	10	<p>当「計画（案）」は「前期計画＜計画期間：平成27（2015）年度～令和5（2023）年度＞に続く、後期計画＜計画期間：令和6（2024）年度～令和12（2030）年度＞です。」（P1より）とのことですが、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期計画の目標がどの程度達成されたのか</li> <li>・前期計画から何をどう削除・修正・変更し、何を追加したのかが殆どわかりません。</li> </ul> <p>前期計画があったのなら、そこからどう計画を再編成したのか明示が必須と考えます。</p>	御意見を踏まえ、前期計画の目標値とその背景を追記し、また、後期計画における追加項目について分かりやすく明記します。
〃	11	<p>当「計画（案）」内年号記述が一部元号のみ・西暦のみとなっており年代把握が困難です</p> <p>年代表記を全て西暦表記（最低でも西暦元号併記）に変更願います。当該変更不可の場合その具体的理由をパブリックコメント回答ではなく「計画（案）」に明示願います。</p>	西暦元号併記に統一しました。
〃	12	<p>当案件、本来、関係する国・県・市の施策等々の内容も確認の上意見すべきと考えます。</p> <p>その様な案件、複数案件で意見募集期間が重複する中1ヶ月の期間設定は期間不足と考えます。</p> <p>又、個々指摘しておりますが本文各所に記述不備不足があると感じます。</p> <p>期間の延長、又は期間内意見を反映させた資料を再提示の上での意見募集再実施を求めます。</p> <p>（市のパブリック・コメントに関する条例では募集期間は1ヶ月固定絶対、1回限定とはしていないと記憶しております。）</p>	<p>今回のパブリックコメントは、計画案について御意見をいただくために実施しています。</p> <p>手続きにつきましては、周南市市民参画条例及び同施行規則に基づき、適正に実施しているものと考えます。</p>

		<p>前述対応が不可能ならば、その具体的理由を明示願います。（「条例等に則って」と言う場合は、「条例等」が「1ヶ月固定絶対、1回限定」としているかどうか明示願います。）</p> <p>今回、パブリック・コメントが同一募集期間に2件、一部期間重複が2件となっていたと認識しております。</p> <p>「案件集中の回避」について何らかの対応（各部署への通知指示指導広報等）がなされたかどうか明示願います。</p> <p>同様に、「募集案件集中時の期間延長」について何らかの対応（各部署への通知指示指導広報等）がなされたかどうか明示願います。</p> <p>前述各対応が無かった場合は、「（過去のパブリックコメント/意見募集でも同一期間に案件集中について指摘があったにもかかわらず）なぜ市として対応をしなかったのか」、関係各部署に御確認の上で対応非実施の理由を明示願います。</p> <p>前述対応があった場合、なぜ今回の当パブリックコメント/市民意見募集で対応（集中回避・集中時期間延長等）が取られていないのか明示願います。</p>	
<p>〃</p>	<p>13</p>	<p>今回の意見募集の広報・記事扱いが実際どの程度あったのか、後々「広報が十分なされたか」を判断する為にも、</p> <p>「市ホームページ、市広報＝市行政に関心又は用事の在る市民が参照する媒体」では無く、一般市民が広く目にする新聞類にどう広告掲載した/記事掲載されたのか、『具体的(媒体、掲載日、大きさ)』に提示願います（記事の場合は把握している範囲内で御願ひ致します）。</p> <p>前述の広告掲載/記事掲載状況と、意見送付市民数・意見数より、今回の当該パブリック・コメント/市民意見募集についての広報が十</p>	<p>今回のパブリックコメントは、計画案について御意見をいただくために実施しています。</p> <p>手続きにつきましては、周南市市民参画条例及び同施行規則に基づき、適正に実施しているものと考えます。</p>

		分になされたかどうか、御判断御明示願います。（「意見募集の結果(人数・件数)の明示」ではなく、「広報が十分になされたかどうかの判断」（十分・不十分）を御明示願います。）	
〃	14	文面内に一般的でない専門用語・行政用語（大勢が正確な意味を把握しているか疑わしい語句）が多々使用されていると感じます。 「用語解説」掲載を希望します。 パブリック・コメント/市民意見募集の案件には「用語解説/語句説明」掲載を必須とされます様宜しく御願ひ致します。 又、「用語解説/語句説明」掲載についてはパブリック・コメント/市民意見募集の際は常に意見していると記憶しております。 今回の「計画（案）」に「用語解説/語句説明」が無かった理由を明示願ひ致します。	貴重な御意見として賜ります。本計画においては、御意見を踏まえ、適宜、解説を記載します。
	15	資料掲載図表への通し番号設定・記載、出典明示は有難いです。 パブリック・コメント/市民意見募集の案件資料では掲載図表への通し番号設定・記載、出典明示必須とされます様宜しく御願ひ致します。	貴重な御意見として賜ります。
	16	水素事業に力を入れた結果、住民が得られるメリットをより分かりやすくなるとよいと思いました。水素事業を進める過程で周南市がどれだけ活気づくのか、どれだけ企業誘致することができ、それに伴う企業数や人口の増加はどれだけ見込めるのか、結果として市の財政がどれだけ潤い、それがどのような形で市民に還元されるのか、などが分かりやすく提示いただけると、地域住民からの理解が得やすくなるのではないかと思います。	貴重な御意見を賜わりありがとうございます。今後の計画推進に当たり参考にさせていただきます。